

ロンパース(赤ちゃんのつながいの洋服)を活用した世界にたった一つしか存在しないオーダーメイドぬいぐるみの制作に関するクオリティUPと売上拡大につなげる施策実施プラン

株式会社エンパシージャパン

受付番号: 2513212542

代表者名	代表取締役 仁地香代子	資本金	300万円
所在地	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-21 クルックホーム 3F	従業員	1人
連絡先	03-6721-1588	URL	http://www.empathyjapan.co.jp/

■ 取組みの背景

当社は、親子の愛情・絆をより深くするための商品として、赤ちゃんの時に着用していたロンパース(つながいの服)をぬいぐるみにリメイクする『ロンパースベア』の製造販売を行っている。そのユーザーから「ぬいぐるみに誕生日・誕生グラム・名前などを刺繍をしてほしい」という要望が寄せられていたが、その刺繍に対応できるマシンや、そのための体制が整っておらず、要望に応えることができなかった。また、商品アイテムもひとつしかなく、デザインのバリエーション(ベア(クマ)やうさぎや恐竜や犬など、子供が好む造形)も求められているため、新作アイテムの開発ニーズもある。

本補助事業では、試作品の監修及び制作に関するディレクターを置き、刺繍を行いオリジナル商品としての付加価値を高め、商品ラインアップやデザインを増やすことで、更なる売上拡大に繋げるのが目的である。

■ 取組みの内容

試作開発は、1アイテムで約10体(5アイテム×色・柄・アクセント等違い2体)のバリエーションある試作商品制作を目標とした。また、刺繍機能を実装しているマシンを1台導入した。刺繍や商品製造の監修及び制作に関するディレクションは本部で行い、その指示に沿って縫製することで、社内だけでなく在宅でも仕事ができ、かつ生産体制の構築も整い、女性が子育てしながらでも仕事ができる環境を創出した。

<原材料購入>

ぬいぐるみ100体分の原材料を購入し、既成のベア以外の制作を行った。1アイテムのために必要な材料は、綿・目鼻パーツ・足耳用布・ロゴ入りスタイ・金型などである。また、生地用に古着ロンパース20体分も購入した。

<パターン制作>

ベア以外の形状でかつ生地の使用量や制作の安易・難易など、多角的な視点で制作を実施した。男の子バージョンのベアや抱きかかえやすいぬいぐるみなどのニーズに対して恐竜・犬のほか、子どもが抱きかかえやすい丸形・筒型のぬいぐるみなどを試作した。試作品開発におけるデザインとパターンは、色・素材・デザインなどのバリエーションに多様性を持たせるため、1アイテムにつき2体、全5アイテムの試作品を制作した。

この試作により、商品化のためには技術の高さと生地量、制作コストが高くなるといった課題が見えた。また、すべて預かった生地で作成しないなどデザインの改良をすれば、商品化が見込めることがわかった。



強み

「ロンパースベア」の企画・製造販売を行っている。お子様が着用した思い出のロンパース（赤ちゃんの時に着ているつなぎの服）を使用し、世界にたった一つのぬいぐるみを、熟練の職人が一体一体丁寧にオーダーメイドで制作しているのが強みである。制作は全て日本国内で行っている。親は子どもが赤ちゃんだった頃を思い出し、子どもは自分を愛して育ててくれた親の想いを感じることで、「家族の絆」「子供の自己肯定感を育む」など家族をつなぎ、心を支える商品になればとの願いを込めている。

また、認知症予防トレーニングセミナーの開催ほか、子供向け施設や健康食品の広報などに対し「共感」「コミュニケーション」を通じて取り組んでいる。



ロンパースベア

<機材購入>

ロンパースベアのオリジナル性を高めるため、刺繍用のミシン1台とソフト、ぬいぐるみ用金型を導入した。ソーイングミシン『ブラザーSOLEIL120E』は刺繍機能を内蔵しており、見やすい液晶タッチパネルで模様・サイズ・レイアウトを指一本で選択できる。多彩なデザインのクラフト刺繍模様を153模様内蔵、533種類の多彩なステッチや文字を標準装備している。パソコンでベアの足に刺繍する名前をデザインし、Wi-Fiで自動的にミシンが動き刺繍を行う。

この機能による試作商品は、取引先企業の方々からの反応も良く、手ごたえを感じた。また、商品のクオリティアップと、外注生産をしなくても対応できるようになったため、原価を下げることに繋がると見込んでいる。



実際の刺繍

<外国特許出願>

国内特許取得済みだったが（商願：2014-043866）、海外での展開を視野に入れて、米国・中国・欧州における『ROMPERS BEAR』の商標権を出願した。これにより、商圏の拡大が見込まれる。

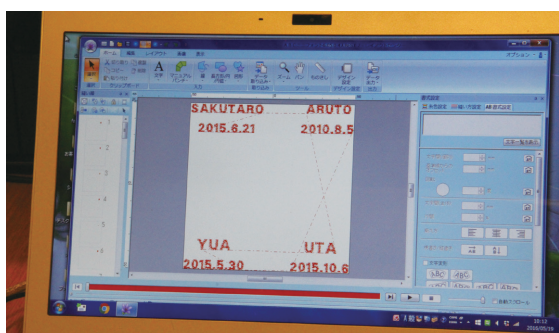
取組みの成果

事業終了後の2015年10月より、伊勢丹新宿店・京都店での委託販売を開始した。販売協力店が増えることで受注数増を期待している。アイテム数はロンパースベア1点しかないが、今回の試作開発により新作アイテムの可能性が生まれ、商品ラインナップの充実を図っていく。また様々な刺繍が可能になったことにより、オリジナル商品としての付加価値提供が可能になった。いずれは1人で2つのぬいぐるみを購入したり、顧客のニーズに合うデザインを提供したりと、消費行動に繋がることを見込んでいる。

今後は、半年に一度を目安に新作アイテムの開発を行い、顧客のニーズを反映した商品の提供と同時に、広報活動や販売戦略にも力を入れ、『1歳の誕生日にはロンパースベアを送る』という“1歳のバースディ市場”を創り上げていく。



購入したミシン『ブラザーSOLEIL120E』



刺繍のデザイン